

藤森照信展 特別企画 「磯崎新×藤森照信 対談」ご紹介とご取材のお願い

水戸芸術館現代美術センターで、現在開催中の展覧会「藤森照信展—自然を生かした建築と路上観察」の特別企画として、当館設計者の磯崎新氏と藤森照信氏の対談が決定しました。つきましては御社メディアにて、ご紹介またはご取材くださいますようお願い申し上げます。詳細は下記をご参照ください。

「藤森照信展—自然を生かした建築と路上観察」特別企画 磯崎新×藤森照信 対談

水戸芸術館設計者の磯崎新と、現代美術ギャラリーで展覧会を開催中の藤森照信の対談が実現！
水戸芸術館と藤森照信展について語ります。

日時：5月7日（日） 15:00～16:30（開場14:30）
出演：磯崎新（当館設計者・建築家）
藤森照信（本展出品建築家・建築史家）
会場：水戸芸術館コンサートホールATM
定員：400名（先着順・予約不要）
料金：無料 ※ただし、当日のギャラリー入場券が必要となります。

藤森照信展—自然を生かした建築と路上観察

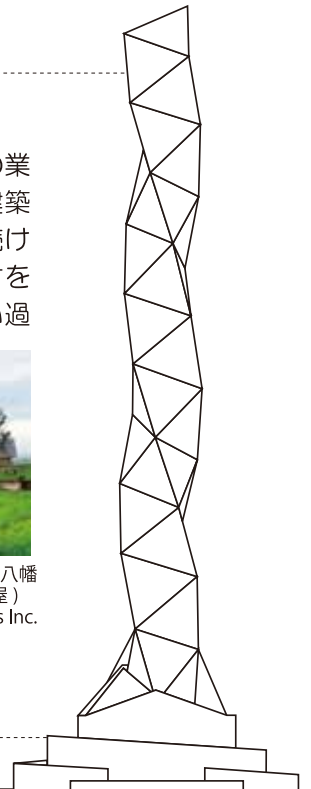
1946年生まれの藤森照信は、近代建築史・都市史研究の第一人者として多くの業績を残したのち、45歳で神長官守矢史料館（長野県茅野市、1991年）を設計、建築家としてデビュー。以後、約25年のあいだに40余の独創的な建築作品を創り続けてきました。それらは、屋根にタンポポやニラが植えられた住宅や、皮付きの木材を柱にした鳥の巣箱のような茶室など、建築の通念を軽やかに超えた新しさと、遠い過去を想起させる懐かしさを併せ持つ建築として知られています。

本展では、建築と自然との関係を取り戻すべく藤森が取り組んできた「自然素材をどう現代建築に生かすか」「植物をどう建築に取り込むか」をテーマにその仕事を紹介します。

会期：2017年3月11日（土）～5月14日（日）
開館時間：9:30～18:00 ※入場は17:30まで
会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー
休館日：月曜日



《銅屋根》ラコリーナ近江八幡
（たねや本社屋）
©Nacása & Partners Inc.



【お問合せ】

- 企画について：井関悠
- 広報・写真貸出について：鳥居加織 email: cacpr@arttowermito.or.jp
- 水戸芸術館現代美術センター：Tel. 029-227-8120 Fax. 029-227-8130